大学受験編

AO入試にも対策コース

今や私大合格者の6割 AO・推薦にどう挑む

増え続ける新しいスタイルの入試に塾や予備校も対応を模索している。

推薦入試対策を専門に手掛ける塾まで登場した。

横浜に教室を持つ「洋々」は生徒の志望大学に合わせてAO・推薦入試対策を行う個別指導塾だ。設立3年ながら、AO入試の最難関といわれる早稲田大学、慶應義塾大学に多数の合格実績を持つ。

一般的な塾とは異なり、ビジネスの現場で活躍してきたプロによる指導が特徴だ。「コンサルティング会社で人材開発に携わった者や、元・大手企業の採用担当者が、人材開発における最先端の方法論を高校生の指導に適用するのが強み」と代表の清水信朗氏は言う。

カウンセリングを通して生徒自身が気づかなかった強みを引き出すことに始まり、それを志望理由書などの提出書類で表現する方法の指導、そして面接、プレゼンテーションといった本番対策までを一貫して行う。また、特殊な試験にも対応。試験にドローイングが課される早大創造理工学部の「創成入試」では、美大受験生を教えてきたプロの手を借りて指導をする。

■ 私立大学の「推薦型入試」の合格者割合

（出所）洋々の資料より編集部で作成

人材開発のプロがAO入試対策に参入

こうした状況の変化に合わせて、進学塾ではAO・推薦入試対策の授業やコースが増加。最近ではAO・

しかし、多くの進学塾にとって、AO・推薦入試対策講座をどう扱うかはデリケートな問題だ。「どの進学塾にも何らかのAO・推薦対策講座はある。だが、早い段階で合格が決まるAO入試は通常の一般入試対策と競合する部分が多いため、どの塾もあまり大々的には宣伝しない。また、指導自体にもさほど特徴がないのが現状」（清水氏）。もっとも、これだけAO・推薦入試の数が増えてくれば、塾も変化せざるをえない。いかに競争力のあるAO・推薦入試対策を打ち出すかが今後の課題となりそうだ。